

鉄筋コンクリート部材の塩害対策（SSI 工法）

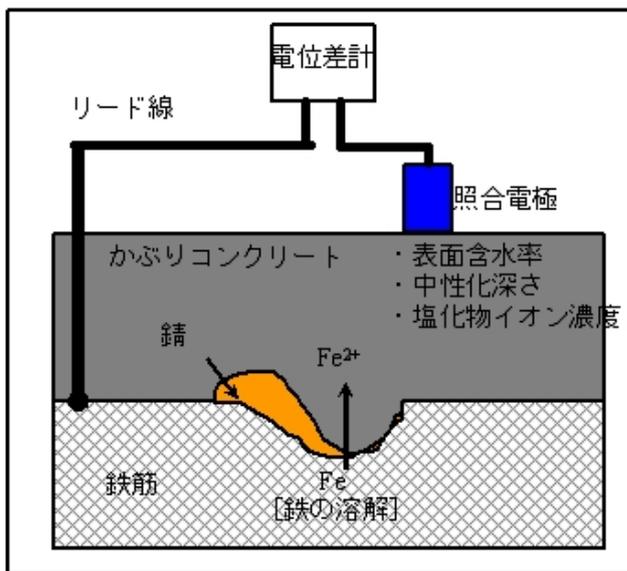
開発者名 (公財) 鉄道総合技術研究所

賢材分類 検、健

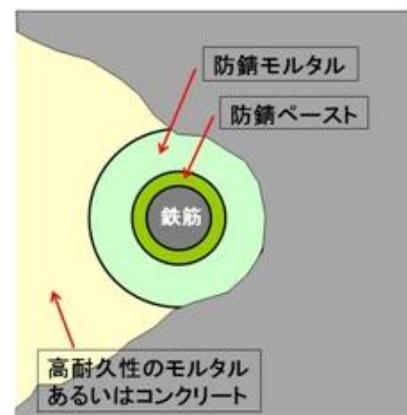
塩害による鋼材の腐食は、コンクリートの品質や環境によって著しいものがあり、構造物の性能を低下させます。コンクリート材料研究室では、塩害によって劣化が生じた構造物の外観観察、中性化深さ、塩化物イオン濃度の定量などの点検方法の他に、内部の鋼材の腐食度を判定する方法（自然電位補正法）を提案しました。また、塩化物イオンを吸着・固定化して塩害による構造物の劣化を抑制する補修工法（SSI 工法）を開発しました。

【特徴】

- ・自然電位補正法による鋼材の腐食診断は、非破壊で鋼材の腐食度の区分を判定することができます。
- ・SSI 工法による補修は、塩化物イオン吸着剤を添加した防錆型補修材料を用いるもので、有害な塩化物イオン (Cl^-) を吸着・固定して無害化し、防錆効果のある亜硝酸イオン (NO_2^-) を放出して、塩害による鋼材の腐食を抑制するものです。



自然電位の測定



SSI 工法による補修

参考文献

—